



ヤブレガサの群落



スミレサイシン



ニリンソウ



トウゴクサバノオ



五色の滝(米原市)

# 奥伊吹、五色の滝と山寺をめぐる旅 トウゴクサバノオ

☑まがに秘境

4月初め、奥伊吹スキー場に向かって車を走らせると、姉川沿いの桜並木が目飛び込んできます。そこから仰ぎ見る伊吹山は、格別です。まるでピンク色に染まっているかのよう、美しく輝いていました。  
曲谷集落を抜けたあ

# 伊吹山 やまはな便り

12



伊吹山ネイチャーネット  
ワーク事務局長

山下 吉和

## 植物の環境を守ることで花たちの命を紡ぐ

たりで右折し、車を置き、細い林道に入っていきます。登山道分岐からは本格的な山道となり、約1kmほど歩きます。途中、奇妙な「唐傘(からかさ)小僧」の群れに遭遇しました。正体は、ヤブレガサ(破れ傘)です。綿毛で覆われたこの時期が最も見頃です。

そして、五色の滝に到着。目に映るのは、深い森と伊吹山系を源流とする滝のみ。まさに秘境です。大きな岩間を縫って清流が滑り落ちる姿は、壮大です。足元に目をやると、スミレサイシンやトキワイカリソウ、ミヤマカタバミなどの早春の花々がしっかりと根を張って咲いていました。引き返した後、再び車を走らせ、山寺へと向かいます。

☑「山野草の寺」

長尾寺は、白鳳時代に開かれた山岳霊場伊吹山寺の一つで、現在

は、知る人ぞ知る「山野草の寺」でもあります。10年ほど前に描かれた山野草の天井画は見事です。裏山を散策すると、ニリンソウやカタクリの群生が見られます。希少植物、トウゴクサバノオの淡い黄花は可憐です。花後につける実の形が、「鯖の尾」に似ることから命名されました。

「今年も出逢えてよかった！」安堵の間です。さらには、ヤマエングサクやタニギキョウも、癒やし、和ませてくれました。長尾寺では、人の手によって植物を増やすのではなく、植物の環境を守ることでこの貴重な花たちの命を紡いでくれました。大いに学びたいところです。

連載は、今回で最終です。改めて、伊吹山はどこまでも大きく、懐の深い山でした。これからも、魅了され続けたいです。一年間、ありがとうございました。(おわり)